

学びあいセミナー「理想をめざして実践しよう！」

九州ブロックの取り組み

九州ブロック運営委員会：猿渡清正（福岡県）・安部泰男（福岡県）・浦田美砂（長崎県）
久米雅久（佐賀県）・葛西満里子（大分県）・古田栄子（宮崎県）・小里アリサ（熊本県）

1 九州ブロックのこれまでの動き

(1) 概要

九州ブロックの交流は、2005年の熊本県阿蘇での第1回「交流会」から始まりました。その後、合同研修やコーディネーター研修の機会を通して交流会を行ってききましたが、当初より、以下のねらいを念頭に取り組んできました。



- ・九州理事会交流会の定例化…各県の情報交流や講座等の日程調整を行う
- ・共同の研修会開催…質の高い研修を年1回は九州地区で実施したい。
- ・全国研究会の開催…九州内で開催することで活性化及び会員資質向上に寄与したい。熊本県に意向があるので、九州の他県からも応援体制を作る
- ・近接県の連携強化…例：南九州（鹿児島・宮崎・熊本）・北九州（長崎・佐賀・福岡・大分）

(2) 成果と課題

ア 成果

- ・2008年の熊本県での全国大会をはじめインストラクター研修やコーディネーター研修、合同研修を実施することができた。

- ・研修会場を九州ブロック内の各県持ち回りで行うことで、県内活動の活性化とブロック内会員の交流が深められてきた。

イ 課題

計画に基づき会を重ねるごとに軌道に乗ってはきたものの、一方で、担当者一人が計画立案から研修全般を担ってきたこともあって、九州ブロックとしての研修内容を充分練るといふ段階までには至れずに当日を迎える場面がみられた。また、遠方から参加した会員から、もっとネイチャーゲーム協会らしい研修を望むとの声もでてきた。

九州ブロック研修一覧

年度	合同研修	コーディネーター養成 研修講座	インストラクター研修	全国研	特記事項
2005	セミナー(阿蘇)	福岡県(篠栗)	福岡県(北九州)	三重県(熊野)	第1回交流会
2006			福岡県(篠栗)	長野県	第2回交流会
2007	熊本県(水俣)	福岡県(篠栗)		高知県(室戸)	第3回交流会
2008		熊本県(阿蘇)	長崎県(諫早)	熊本県(水俣)	第4回交流会
2009		宮崎(綾町)		大阪府(中止)	第5回交流会
2010	セミナー(阿蘇)	大分県(湯布院)		沖縄県	第6回交流会
2011		熊本県(阿蘇)		愛知県	第7回交流会

2 学びあいセミナーのねらい

(1) なぜ私たちはこのようなセミナーを提案したのか

私たちリーダーは、養成講座でこの活動の理念とアクティビティを学びました。講座のプログラムは、今でも新鮮な感覚のまま体に焼きついています。指導者として学んだ手法で自然を案内すればするほど、“理念の3つのキーワード”“指導員の5つのルール”の奥深さを感じ、それを伝える事の難しさを感じました。ハンドブックや書籍から読み解こうとしては迷い、迷いながら整理していく過程の中で、この活動を継続させた原動力はリーダー養成講座で体験した数々の感動にほかならないということ

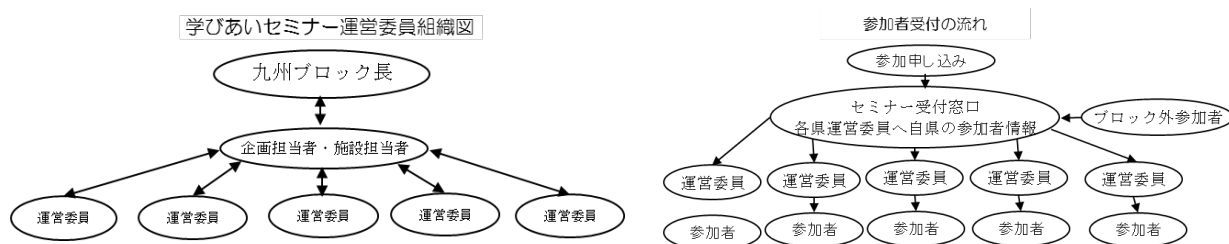
に気づきました。さらに、20周年記念講演会において、コーネル氏が語る“シェアリングネイチャーの6原則”に直接触れた時のコーネル氏の言葉がそのまま心に流れ込む感動は、シェアリングネイチャーの活動を自分の使命として続けていこうと確信させるものでした。

「ネイチャーゲームの森」でもコーネル氏の言葉とともに6原則が紹介されましたが、いかに生の声が伝える力を持つかということに改めて考えさせられました。と同時に、シェアリングネイチャーの活動を伝えるために、いかに理念と体験（アクティビティ）が一体となったセミナーが重要か！ということに改めて感じたのでした。

そこで、私たちリーダーが、アクティビティ指導のスキルアップを目的として学ぶだけではなく、自分自身のシェアリングネイチャーの理念を深めるための「学びの場」が欲しいと考えました。そして、その「学びの場」が、仲間と一緒に体験することによって改めてシェアリングネイチャー活動の目的を見出すきっかけの場となれば、その後の個々のあるいは組織の活動がより持続可能な活動へとつながっていくのではないかと、その思いから、九州ブロックでの提案となりました。

(2) 運営委員会はどのように立ち上がり、動いたか

九州ブロックでは、これまで、合同開催セミナー運営を開催会場県が主管となって進めてきました。今回は、県・窓口担当者の負担軽減のため、ブロック各県から1名ずつ「学びあいセミナー運営委員」を選出してもらい、それぞれの得意な分野で役割分担し、メールでのやり取りを中心にセミナーを準備しました。



3 セミナーの概要とプログラム

(1) 概要

- 日程：2010年11月12日（金）～11月14日（日） 2泊3日
- 会場：国立阿蘇青少年交流の家 キャンプ場管理棟
- 参加者：21名（福岡・長崎・佐賀・大分・宮崎・熊本・鹿児島・千葉から参加）
- テーマ：理想をめざして実践しよう～シェアリングネイチャーの理念を理解して、行動につなげていくために
- シェアリングネイチャーの深い森に分け入るための案内人：服部道夫さん・三好直子さん
- セミナーの進め方：
 - ①「喜び」が味わえるアクティビティを体験する
 - ②「共感」を伴った理解をめざす
 - ③「対話」を取り入れ互いに学び合う
 - ④「理念」を共有して共に歩む
 - ⑤「理念の具体化」は、個々の自発性、独自性を尊重する
 - ⑥ プログラムは、参加者の意向を聞きながら進めていく

(2) 3日間のプログラム

1日目 11/12(金)

		内 容
午後	13:30	学びあいセミナー開講式 ・施設オリエンテーション ・開講の挨拶 松本和良熊本県ネイチャーゲーム協会理事長 ・講師、運営委員紹介 セミナーオリエンテーション(全体像についての共通理解)
	14:00	セッション1:アクティビティ体験 ・フローラーニングを体験して、その意味を理解する 〈森の怪物〉〈裸足で歩こう〉〈サウンドマップ〉〈カメラゲーム〉 ・感じたことをシェアする
	16:10 17:30	セッション2:ネイチャーゲーム活動の基本を学ぶ ・フローラーニングの意味は・指導員のための5つのルールについて など ・講師と参加者との対話
夜	19:00	セッション3:これまでの体験をふり返り、理念と実践のつながりを探る 背景:コーネル氏はどのような思いでこの活動を始めたか
	20:30	・シェアリングネイチャーの理念とは ・講師と参加者との対話

2日目 11/13(土)

午前	09:00	セッション4:感覚を広げるアクティビティを体験しよう 〈アニマルトレイル〉〈小さなものを虫メガネで見る～小さな美〉
	12:00	ナヴァホインディアンの詩をみんなで唄ったあとに 〈目かくし歩き〉
午後	13:00	(セッション4の続き) ・メディテーションについての理解を深める
	14:30	〈ネイチャーチューニング〉
	15:00	セッション5:理想を描いて行動につなげていくために ・ワールド・カフェを進めてみよう
夜	17:30	お題:「NGが社会から求められているものは?」「NGでつまづいたことは?もやもやしたことは?」「NGを続けているのはなぜ?」「NGって何?」
	19:00 20:30	(セッション5の続き)ワールド・カフェの各テーブルで、「NGを通してやりたいこと、やれることは何?」に記入されたことを見ながら ・シェアリングネイチャーを生かして、自分がこれからしていきたいことを計画する

3日目 11/14(日)

午前	09:15	セッション6:今後の活動に向けて このセミナーを通して見えてきた、本当にやりたいことを宣言する ・想いを行動につなげるために、「自分との約束」を自然の中にあるも
	11:15	のを使って表現する 講師と参加者によるセミナー全体のふり返り
	12:00	・生き方としてのシェアリングネイチャーに向けて 解散/13時から九州各県NG協会交流会議実施

4 参加者の声 (アンケート抜粋)

(1) 今回のセミナーで楽しかったものはありますか?それは何ですか?

- ・アクティビティ体験全部 (アニマルトレイル、小さい美、森の怪物、サウンドマッ

プ、裸足で歩こう、ワールドカフェ、早朝のフラワー&バードウォッチング) 帰りたくないほど楽しかった!

- ・深い体験での言葉は、聞いている人の創造性を動かす力があるんだ
- ・仲間との交流・阿蘇の自然と触れ合うこと
- ・若い人たちが手さぐりながらも何かを求めている姿に感動

(2) 今回のセミナーに何を期待して参加しましたか?

- ・思いの源を感じ取っていききたい
- ・自分にとって軸になるもの、実現する第一歩を踏み出せることを期待
- ・生活にどのようにNGを生かしていくか
- ・スキルアップにつながれば
- ・もっと自然を楽しみたい
- ・シェアリングネイチャーの本質へ触れ、九州の仲間と共有し自分の中に落とし込みたい
- ・6原則を理解し深める
- ・続ける価値のあるものなのか確認したかった

(3) 今回学んだことは何ですか?

- ・悩みつつも歩み、信念を貫く姿
- ・深い思いを現わしていくには、深く自分が体験していくこと
- ・ワールドカフェの手法
- ・NGをする意義が再認識できた
- ・「自然は先生」
- ・導入とわかちあいの方法
- ・生き方としてのシェアリングネイチャー
- ・わかちあって認められると人間は気持ちがいい



(4) 今後活動にどの様に生かしていきたいと考えていますか?

- ・自分のライフスタイルに生かしたい。日常の生活の中に取り入れていきたい
- ・シェアリングネイチャーカフェ・・・まずはアクションを起こそう! 気軽に参加できる場を作ろう! カフェめぐりできるといいなあ
- ・仕事(子ども達との関わり)でのメンタル面磨きに活かしたい
- ・地域の仲間にセミナーの内容を伝える

(5) 今回のセミナーで印象に残ったものはありますか? それは何ですか?

- ・シェアリングネイチャーカフェがあったら楽しいと思った
- ・調和した自然のリズムを、あの一瞬で思い出した
- ・さまざまなわかちあいが得られた
- ・シェアリングネイチャーの理念が理解できたように思う
- ・仲間のあたたかさ
- ・気づいたことは言うていくこと。呼びかけて行動すること
- ・皆さんの人を受けとめる心
- ・ネイチャーゲームへの思い
- ・シンプルなネイチャーゲーム 簡単でいいんだ と学んだ
- ・シェアリングネイチャーカフェで思いを共有したこと
- ・各県で活躍している方達の志の高さ・熱さ

(6) お気づきになったことをお知らせください(こんなにしたら、もっと良くなる)

- ・スタッフを企画・準備スタッフと運営スタッフに分ける。運営スタッフは当日参加者より選ぶ
- ・年に1回は学びあいセミナーを続けていく（持続させる）
- ・段階に応じたセミナーの開設
- ・アナンダツアー九州版
- ・もっと全国の仲間とともに学びたい。
- ・人の育成講座はフローのどの段階にある人でも誘いやすいよう 参加しやすいように、段階別にいくつか開催するとよいと思う
- ・九州ブロックでつながり カフェ研修会を継続していただきたい。若い人たち やる気のある人たちにもっと出番を作って育てていけたらいいなあ
- ・NGをもっと広い世代に知っていただくため大学・専門学校への呼びかけをさらにする
- ・提案・・・“NGで婚活” 独身で自然好きな人対象 1日セミナー “etc 来やすいプログラムにする

5 講師の声

今回講師をお願いした服部さん、三好さんは、シェアリングネイチャーの活動に長年取り組んでこられました。理念を行動につなげていくお二人の活動から、後に続く私たちは深い示唆をいただきました。

服部道夫さん

シェアリングネイチャーの6原則の4番目に、「理想をめざして実践しよう!」という項目があります。このセミナーでは、参加者が、自然との喜びにあふれた体験を通して、「理想をめざして実践しよう!」へたどりつく道筋が実感できるという意図でプログラムを考えてみました。私は、前半、これを理屈っぽく進めてしまったため、途中行き詰まってしまいましたが、後半、三好さんが感覚的にあっさりと進めていただいたので、それがうまくいったのではないかと考えています。

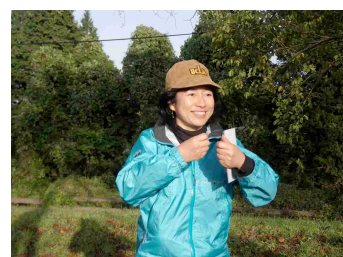


三好直子さん

今回の学びあいセミナー。チャレンジでした。「ネイチャーゲームの本質を」といわれ、でもそれについて「私は私なりの思いはあっても、それは答えではないし・・・」と、躊躇しました。

でも、こういう課題があることで、自分にとってもじっくり考える機会になるのではないかと引き受けることにしました。

いろいろチャレンジしてみました。それも前前から練り上げたというよりは、前日のミーティングや、みなさんのやりとりの中から「こうした方がおもしろいかも」と、現場の中で生まれてくるものが多かったです。共創的な学びということを実感しました。さすが地域で、生々しい思いや感情をもって活動しているメンバー。“学びあい”ですね。こういう思いをもったメンバーがつながっていることは素晴らしい可能性、財産だと思えます。



九州の活動がますます生き生きとしたものになりますように。みなさんそれぞれがあげられた夢が実現に近づきますように。

6 主催者の評価（学びあいセミナーの成果と課題）

今回のセミナーは、シェアリングネイチャーの理念を先ず「個人としての私」が理解し深められること、そして、仲間と学びあい・わかちあう場を提供すること、それによって参加者それぞれが「私」を対象に理念を熟成させるヒントを得ることができれば、個々の自然への係わりがより豊かなものとなり、何をなすべきかを見いだせるのではないかとこの想いで企画しました。参加者の感想からも分かるように、その目的は果たせたと考えています。

成果としては、自分たちの受けたいセミナーを「言い出しっぺ」が推進力となって進め、各県が協働することで、準備や運営を計画的に行うことができました。また、全日程参加を条件としたため参加者の意識が高く、講師・運営委員がテーマに沿った内容を検討しながら進行でき、参加者とともに学びあう場となり内容の深い最良のセミナーとなりました。

課題としては、成果ではあった全日程参加の条件が、集客においては若干マイナスであったことがあげられます。また、運営委員間でメールによる情報共有をおこないましたが、共通認識という点ではメールだけでは困難な時もありました。今回のセミナーは企画から実施まで1年余りかかりました。今後も中身の濃いものを目指すとすれば、準備に十分な時間をかけていく必要があると考えます。

7 九州ブロックの今後の展望

2011年2月に学びあいセミナーのまとめと九州ブロックの交流会を阿蘇にて行いました。今回の運営委員会を基に、今後のセミナー開催の際もこの形式を軸に、さらに動きやすい体制を整えることとしました。“自分たちのやりたいセミナーを自分たちで作り出す”これを合言葉に、今後も個々のつぶやきに耳を傾け、理念を大切にしたい生き方を「応援し合う仲間のつながりの場」をつくっていくことを確認し合いました。

九州ブロックとして、形は変わっても主体性を持って今後とも交流を持続させることを大切にしたいと考えています。

